

2005年3月期 中間決算説明会



2004年11月26日

株式
会社 **朝日ラバー**

グループ会社概要

会社名	株式会社朝日ラバー
創立	1970年5月
JASDAQ 上場	1998年9月
資本金	4億8,538万円
本店所在地	埼玉県さいたま市大宮区土手町
営業所	大阪営業所(大阪市城東区)
工場	福島工場、第二福島工場 (福島県西白河郡)
業務内容	工業用ゴム製品の製造・販売
従業員数	社員 168名 (H16.9月末現在)

会社名	株式会社ファインラバー研究所
設立	1987年4月
資本金	1,000万円
出資比率	100%
業務内容	ゴム・プラスチック等の研究開発

会社名	ARI International Corp.
設立	1999年6月
資本金	20万米ドル
出資比率	100%
業務内容	工業用ゴム製品の販売

主要な事業所



本社(さいたま市大宮区)



第一福島工場(福島県西白河郡)

- ・1986年に操業
- ・1989年と1993年に生産能力拡大のため増設



第二福島工場(福島県西白河郡)

- ・2002年に操業
- ・医療製品専用工場として、点滴や採血に使われるゴム製品を生産

事業系統図

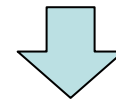
株式会社フインラバー研究所



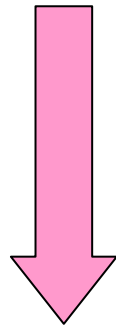
ゴム及びプラスチックに関する研究開発



株式会社 朝日ラバー

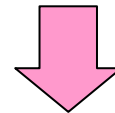


工業用ゴム製品の販売
医療・衛生用ゴム製品の販売



ARI International Corp.

工業用ゴム製品の販売



国内・アジアの得意先

北米・中南米・欧州の得意先

会社沿革

- 1970年 5月 有限会社朝日ラバー設立
- 1976年 6月 株式会社へ改組（株式会社朝日ラバー設立）
- 11月 米国安全規格（UL）4点取得。認定工場へ
- 1986年10月 福島工場を建設。操業開始
- 1987年 4月 株式会社ファインラバー研究所設立
- 1995年 4月 大阪営業所開設
- 10月 北米連絡事務所開設（米国イリノイ州）
- 1998年 9月 JASDAQ市場へ上場（証券コード 5162）
- 10月 ISO9001 認証取得
- 1999年 6月 米国イリノイ州にARI International Corp. 設立
- 2000年 3月 ISO14001 認証取得
- 2002年 3月 第二福島工場操業開始
- 2004年 6月 上海駐在事務所開設

中間決算実績(連結)

(単位:百万円、%)

	2005年3月期中間			2004年3月期中間		
	実績	構成比	前年同期比	実績	構成比	前年同期比
売上高	1,948	100.0	19.3	1,633	100.0	4.9
売上総利益	630	32.4	14.2	552	33.8	5.9
営業利益	95	4.9	16.0	81	5.0	40.7
経常利益	100	5.1	39.8	71	4.4	39.0
当期純利益	46	2.4	12.3	41	2.5	220.0
設備投資額	255	13.1	443.1	47	2.9	54.9
減価償却費	114	6.0	2.2	116	7.0	7.8

中間決算実績(単体)

(単位:百万円、%)

	2005年3月期中間			2004年3月期中間		
	実績	構成比	前年同期比	実績	構成比	前年同期比
売上高	1,932	100.0	20.3	1,605	100.0	4.2
売上総利益	614	31.8	17.0	525	32.7	3.6
営業利益	92	4.8	47.0	63	3.9	16.8
経常利益	100	5.2	88.0	53	3.3	19.5
当期純利益	47	2.4	69.8	27	1.7	206.8
設備投資額	243	12.6	417.7	47	2.9	54.4
減価償却費	110	5.7	0.3	114	7.1	8.8

セグメント別中間決算実績(連結)

(単位:百万円、%)

	2005年3月期中間			2004年3月期中間		
	売上高	構成比	前年同期比	売上高	構成比	前年同期比
工業用ゴム事業	1,745	89.6	17.7	1,482	90.8	6.3
彩色用ゴム製品	748	38.4	9.1	685	42.0	14.5
弱電用高精密ゴム製品	643	33.0	18.6	542	33.2	7.4
スポーツ用ゴム製品	147	7.6	38.9	106	6.5	6.9
その他工業用ゴム製品	204	10.5	38.6	147	9.1	16.3
医療・衛生用ゴム事業	197	10.1	36.6	144	8.9	0.5
その他事業	5	0.3	4.8	5	0.3	66.2
売上高合計	1,948	100.0	19.3	1,633	100.0	4.9

連結子会社の決算状況

会社名	(株)ファインラバー研究所	ARI International Corp.
設立	1987年4月	1999年6月
資本金	1,000万円	20万米ドル
出資比率	100%	100%
業務内容	ゴム・プラスチック等の 研究開発	工業用ゴム製品の販売
決算期	2005年3月期中間	2004年12月期中間
研究収入 / 売上高	4,800万円	7,410万円
営業利益	18万円	134万円
経常利益	31万円	100万円
当期純利益	16万円	114万円

円換算レート:1ドル108.35円

2005年3月期中間 設備投資実績

設備投資金額 255百万円(連結)

主な内訳

開発製品	129百万円
・LEDホワイトキャップ関連	59百万円
・超透明シリコーン関連	56百万円
医療関連	34百万円
既存製品関連等	91百万円

2005年3月期決算見通し

期首予想から変更はありません

(単位:百万円、%)

	連 結			単 体		
	予測	構成比	前年 同期比	予測	構成比	前年 同期比
売 上 高	3,930	100.0	13.9	3,900	100.0	14.5
売上総利益	1,386	35.3	17.3	1,356	34.8	19.3
営業利益	311	7.9	33.4	306	7.8	46.4
経常利益	276	7.0	30.7	270	6.9	45.2
当期純利益	146	3.7	29.7	140	3.6	55.1
設備投資額	372	9.5	190.3	354	9.1	187.2
減価償却費	251	6.4	4.3	240	6.2	1.4

セグメント別決算見通し(連結)

(単位:百万円、%)

	2005年3月期計画			2004年3月期実績		
	売上高	構成比	前年同期比	売上高	構成比	前年同期比
工業用ゴム事業	3,430	87.3	10.6	3,100	89.9	8.9
彩色用ゴム製品	1,587	40.4	15.1	1,378	40.0	5.8
弱電用高精度ゴム製品	1,130	28.8	0.8	1,121	32.5	11.3
スポーツ用ゴム製品	311	7.9	22.1	254	7.4	19.5
その他工業用ゴム製品	402	10.2	16.2	345	10.0	7.1
医療・衛生用ゴム事業	490	12.5	44.5	339	9.8	20.2
その他事業	10	0.3	0.4	10	0.3	62.0
売上高合計	3,930	100.0	13.9	3,449	100.0	9.3

期首予想は「その他事業」を0と見込んでいましたが、10百万円の売上高計画。

これに合わせて「工業用ゴム事業」と「その他工業用ゴム事業」が10百万円ずつ期首予想から減額。

第8次三ヵ年中期経営計画

経営基本方針

お客様に満足いただく製品・サービスを提供し、
社会に貢献する。

独自の製品開発・素材開発で、
参入する分野でのトップシェアを狙う。

定量目標	2006年3月期	売上高	50億円
		経常利益	5億円

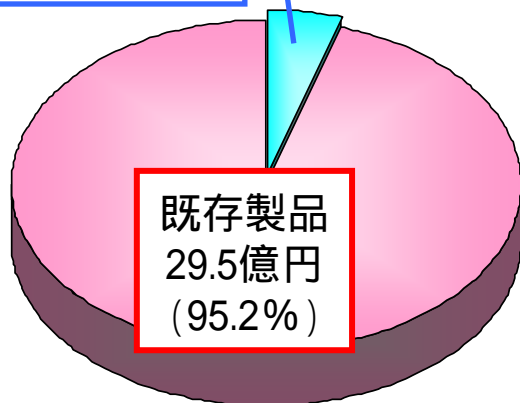
第8次三ヵ年中期経営計画

重点事業領域・・・自動車、情報通信、医療・介護

2006年3月期には
新製品・開発製品の売上高構成比を40%

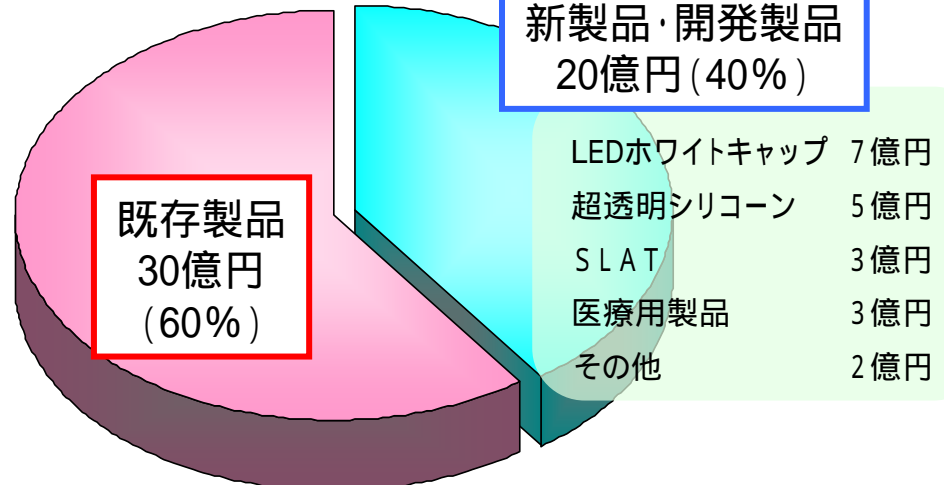
2003年3月期 売上高31億円

新製品・開発製品売上高
1.5億円(4.8%)



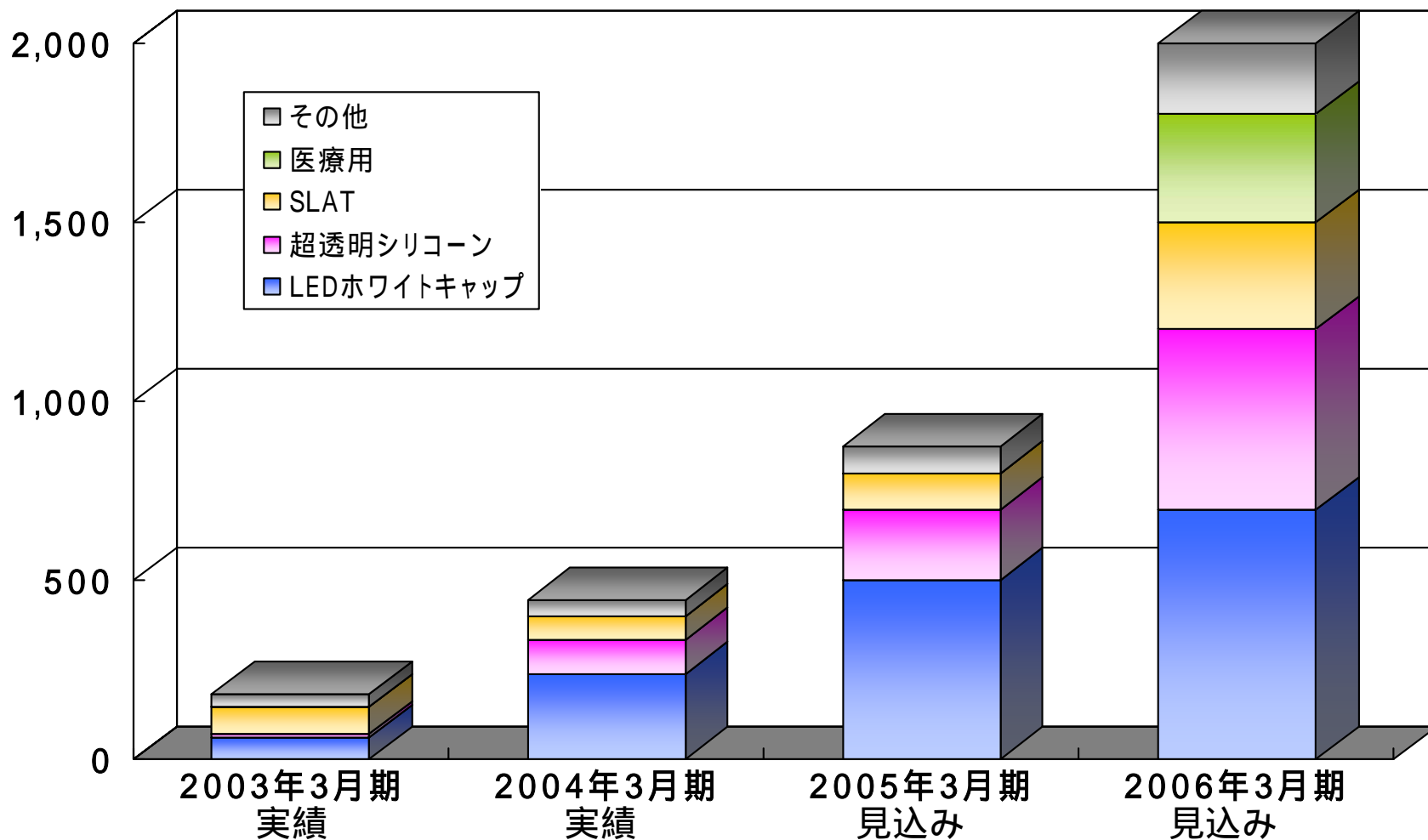
2006年3月期 売上高50億円

新製品・開発製品
20億円(40%)



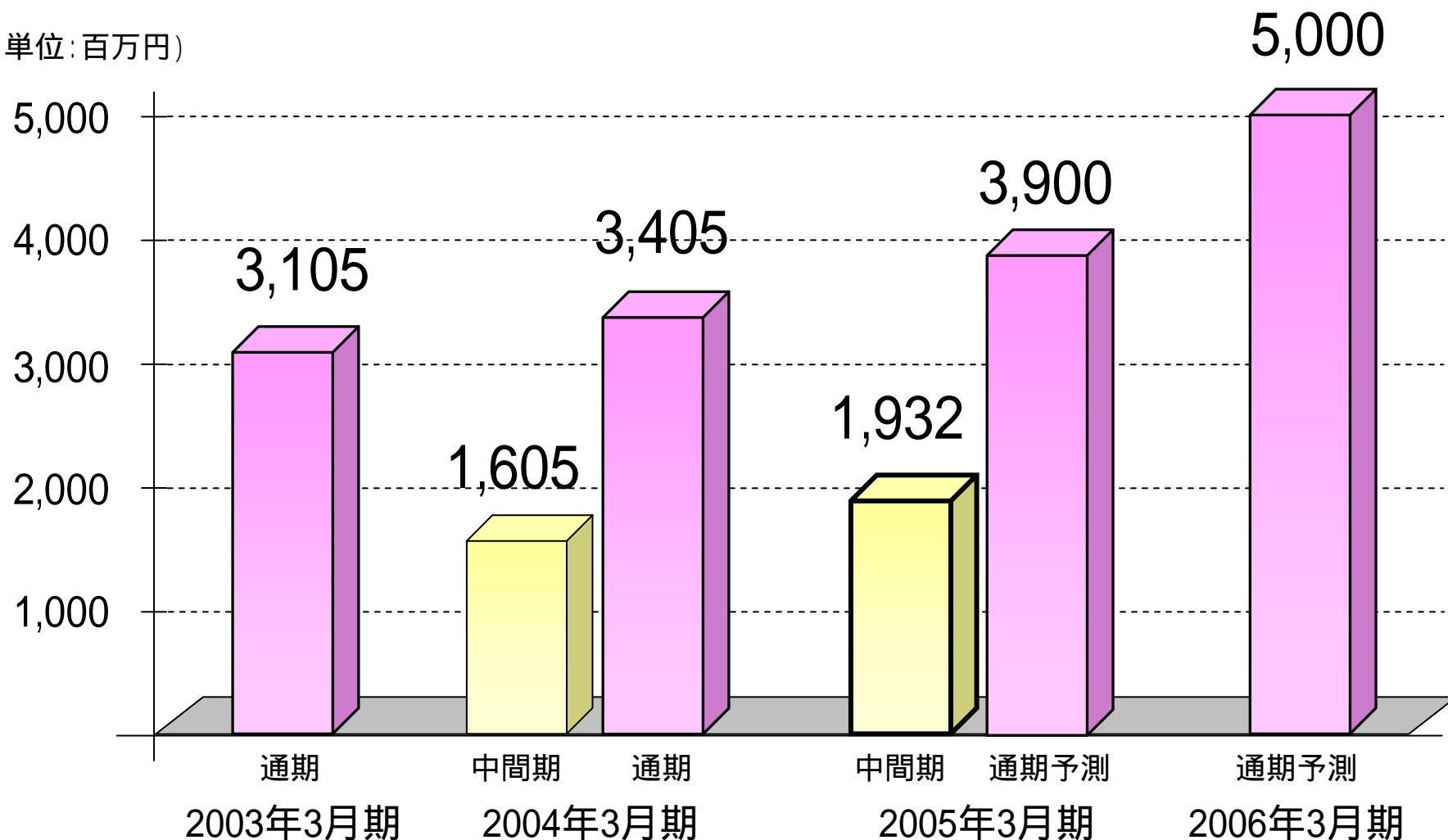
新製品・開発製品の売上高推移

(単位:百万円)

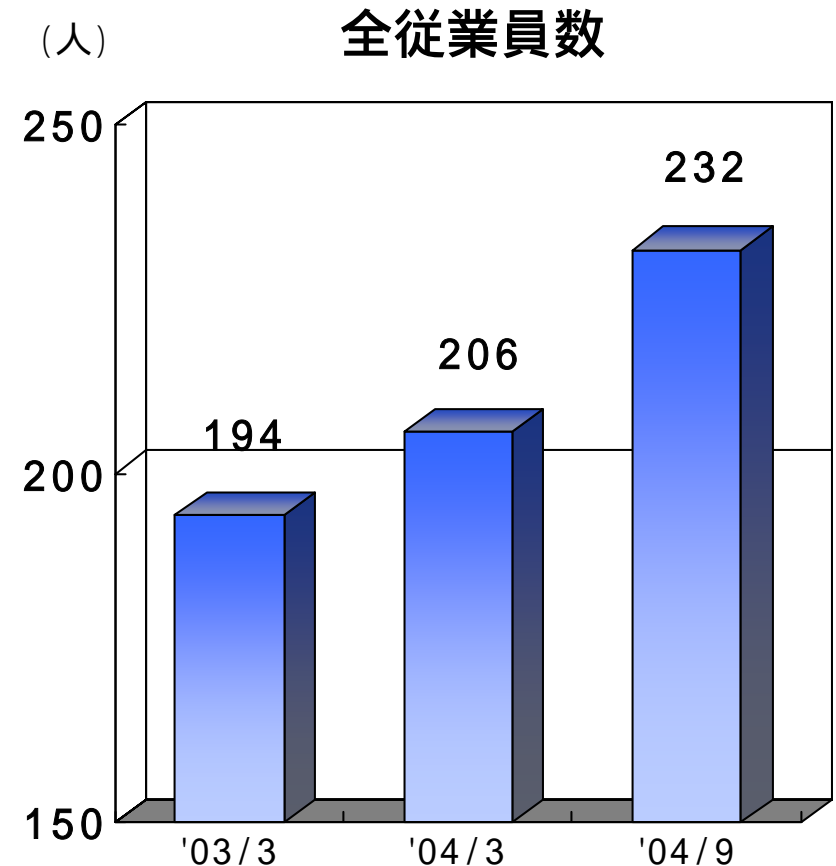
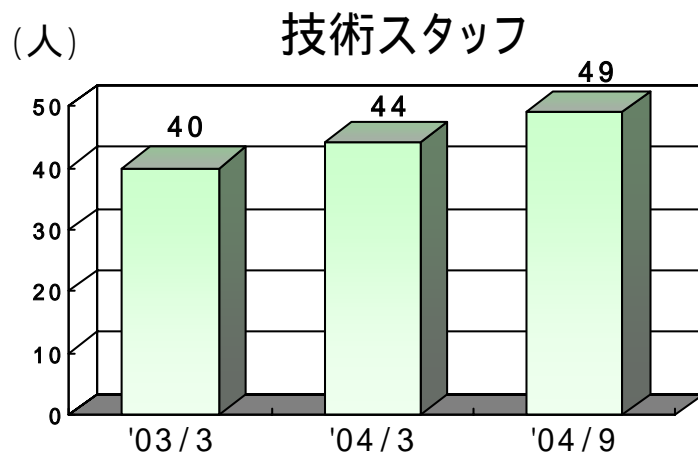
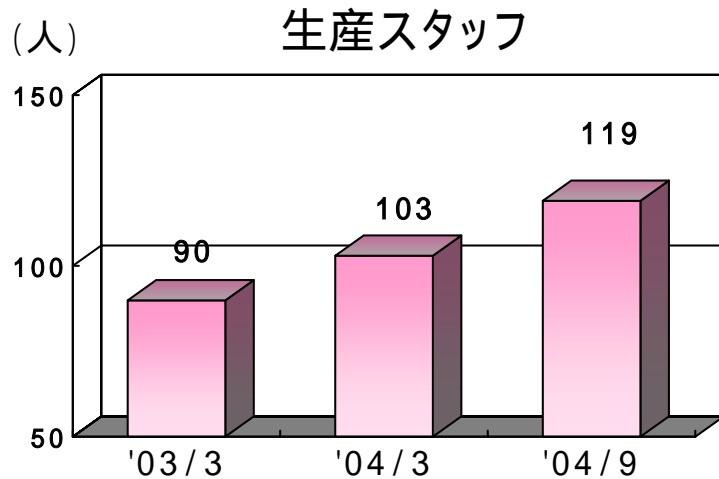


中期経営計画の進行状況(単体)

(単位:百万円)



中期目標達成に向けた人材補強



中期売上目標50億円に向けて早期に人員を投入し、知識習得を図る

LEDホワイトキャップの特徴



LEDホワイトキャップ生産工程

市場ニーズにマッチした特徴

- ・1,000色を超える豊富なカラーバリエーション
- ・色のばらつきを統一できる
- ・小ロットにも対応

自動車搭載箇所

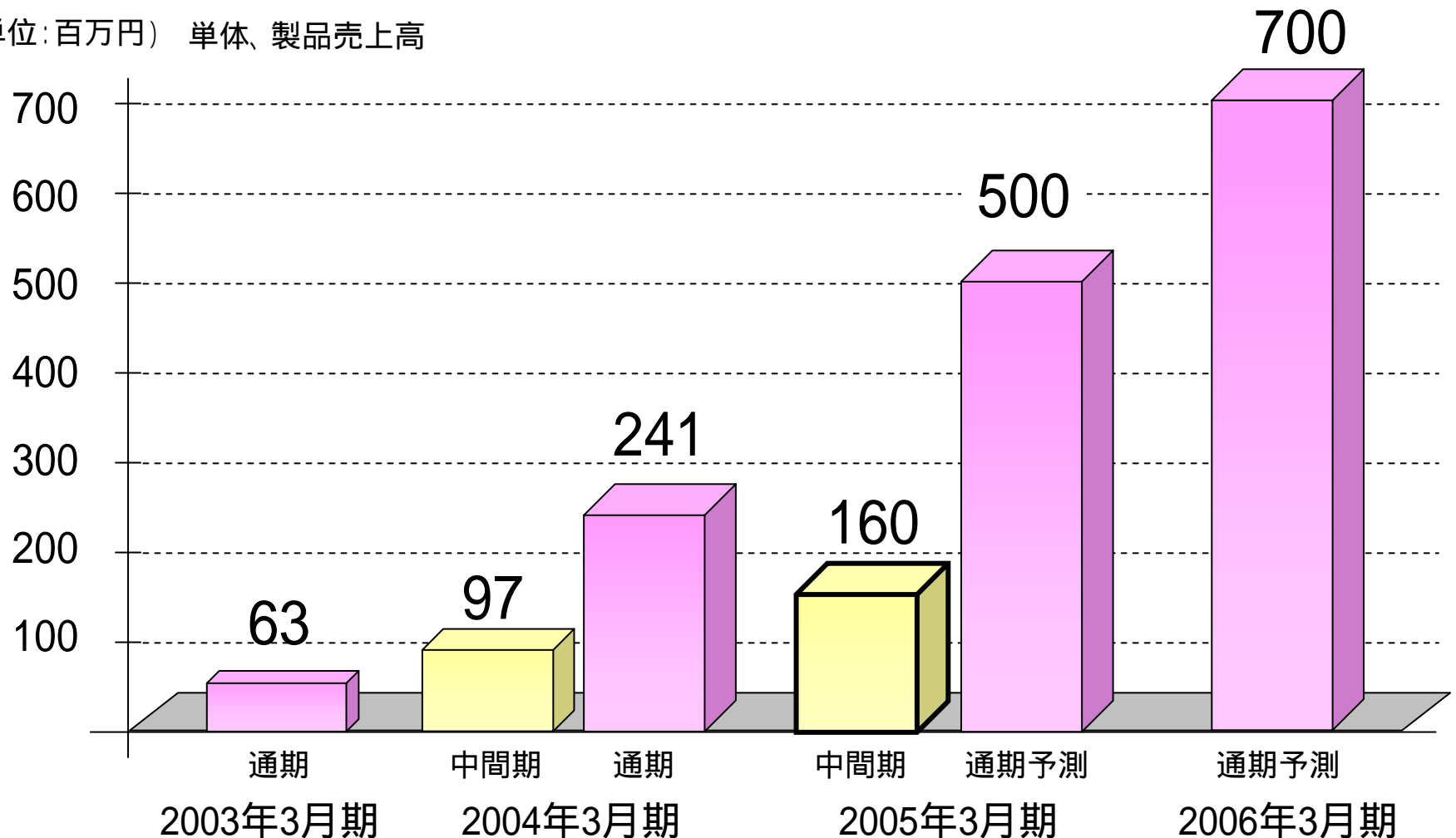
- ・インストゥルメントパネル
 - ・オーディオパネル
 - ・ヒーターコントロールパネル
- ほか内装照明

自動車搭載実績と計画

2004年3月期実績	5車種
2005年3月期中間実績	4車種
累計	9車種

LEDホワイトキャップの売上高推移

(単位:百万円) 単体、製品売上高

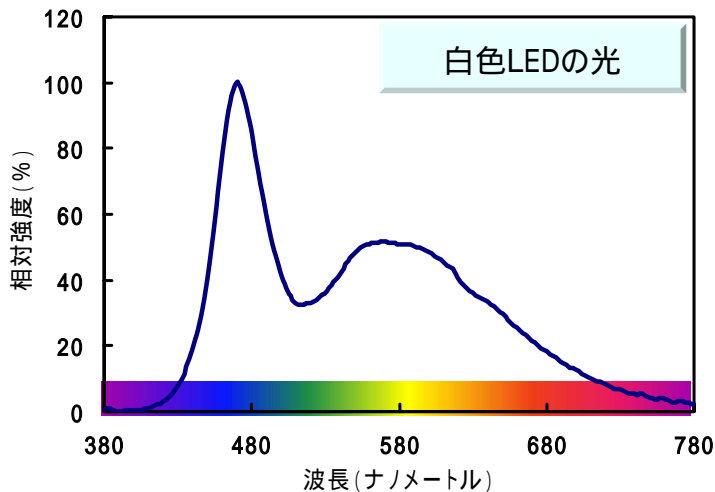


一般照明分野への取り組み

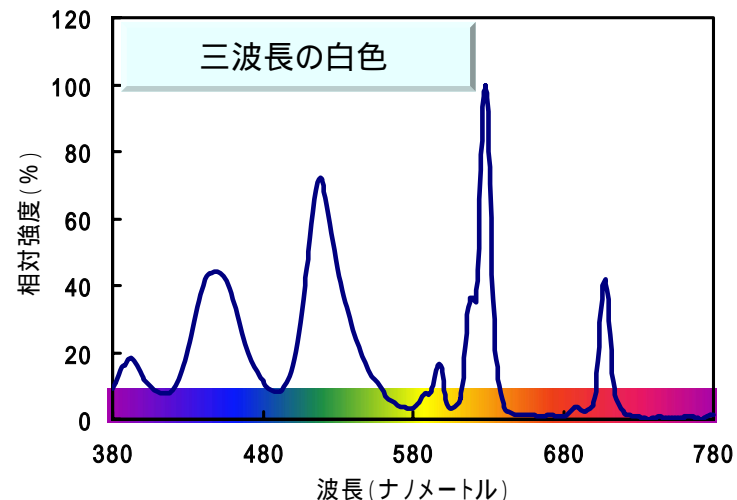
赤色蛍光体の開発

- ・白色LED照明用の蛍光体
- ・2006年の事業化をめざす
- ・現有の赤色蛍光体に比べ発光強度が高い
- ・演色性が高い（演色性とは照明光源下で見える色と太陽光(自然光)で見える色との違い)

青色LED + YAG蛍光体の白色発光スペクトル



新規赤色蛍光体を含むした発光スペクトル



超透明シリコーン

- 特徴
- ・94%の光透過性
 - ・耐熱性に優れ、鉛フリーハンダのリフローが可能
 - ・耐紫外線に優れ、変色しない

- 用途
- ・LED用集光レンズ、赤外線を受光・発光センサー用レンズ
 - ・携帯ゲーム機向けの視認性向上用透明シート

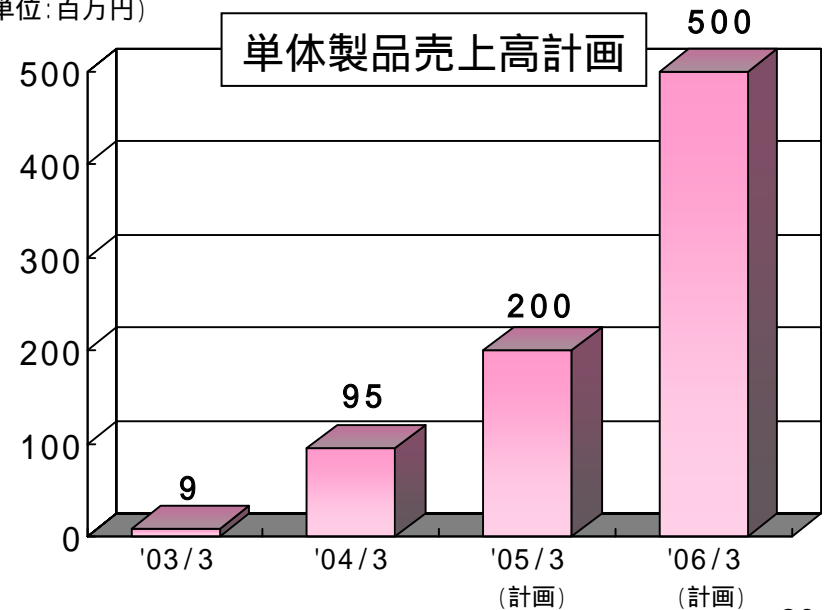


超透明シリコーン製品生産工程



超透明シリコーン製品検査工程

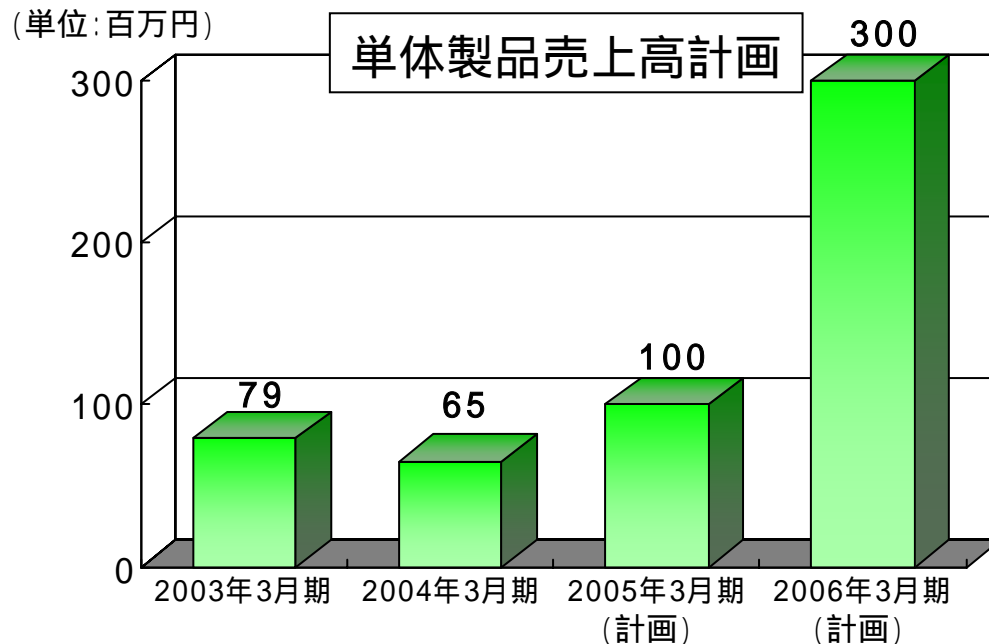
(単位:百万円)



SLAT

特徴

- ・人体や環境にやさしい無溶剤型接着技術
- ・ゴムの加硫と同時に金属に接着するので、高い信頼性と小型化が可能
- ・情報通信向け応用製品への取り組み開始



新しいものづくりがスタート

自動車用ゴム部品(開発製品)

高い導電性を持つコネクタゴム部品

- ・従来の導電性ゴムよりも性能の優れた新しい素材を利用
- ・独自の機械工程開発により、担当者一人でロール(材料練り)から検査、仕上げまでをパッケージ化



小型ロール(右)と予備成形機(左)



自動梱包機

新しいものづくりがスタート

小型で高速のプレスの開発



お断り

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、当資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。当資料記載の業績見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送などを行わないようお願いいたします。